学校と経営者の交流活動推進委員会●3月19日開催

第10回教育フォーラム
勉強するのは何のため？ 働くってどういうこと？

「学校と経営者の交流活動推進委員会」は、働くことの意義と教育のあり方について考える教育フォーラムを開催した。日比谷武委員長は「今回、参加の中学生は過去最高の人数となりました。このような場は私たち経営者にとっても貴重な機会です。本日参加された中学生、保護者、教員の皆さんにとっても、今後の勉強や指導の参考となるような、有意義な時間にしていただきたい」と述べ、基調講演に続いて行われるグループ・ディスカッションでの活発な議論を求めた。

プログラム	（役職は開催当時）
第1部　基調講演	
テーマ：「これからの社会・これからの世界」	
講　師：小林 喜光 代表幹事（三菱ケミカルホールディングス 取締役会長）	
第2部　グループ・ディスカッション	
●生徒グループ	
テーマ：「勉強するのは何のため？ 働くってどういうこと？」	
●教員／保護者グループ	
テーマ：「これからの社会で求められる力と教育のあり方」	

基調講演

これからの社会・これからの世界

講師：小林 喜光 代表幹事
三菱ケミカルホールディングス
取締役会長

生きること、生き抜くことが大事

私は皆さんと同じ10代のころから、「自分の存在意義は何なのか」と考え、勉強し、本を読みました。大学4年生になり、このまま卒業して、みんなと同じように就職して意味があるのかと悩んでいた時、『日本人とユダヤ人』（イザヤ・ベンダサン／山本七平）という本に出会いました。ノーベル賞受賞者の20％以上はユダヤ人といわれていますが、世界の人口比率でいうとたった0.2％しかいません。なぜそのように優秀な民族なのかを知りたくて、博士課程1年の時、イスラエルのヘブライ大学に留学しました。

日本人とユダヤ人には多くの違いがあります。多神教と一神教、農耕民族と狩猟民族、島国の民と流浪の民。そして、自然環境にも違いがあります。私は25歳の時、何もない広大な砂漠の中で、自分の脈打つ心臓の音にはっとさせられ、“生きろ”と神の啓示を受けたような感覚に襲われました。生きること、生き抜くことがどんなに大事なのかを感じたのです。今でも、つらいとき、苦しいときに、その時の情景が思い出され、がんばろう、生きてみよう、逃げずに戦おうという気になるのです。

想像もつかない世界にどう対応するか

今、世界は、グローバル化、第4次産業革命、ソーシャルネットワーク化という大きな三つのうねりに覆われ、われわれが想像もつかない時代に変わろうとしています。

特に2020年代前半には、人工知能（AI）、ロボティクス、ビッグデータの活用などにより第4次産業革命が現実のものとなるといわれています。そのような時代は、モノに代表されるリアルな「重さのある」経済から、ネットに代表されるバーチャルな「重さのない」経済へと変化します。例えば、ウーバーという世界一のタクシー会社があります。しかし、ウーバーは一台もタクシーを持っていません。ネット上で、モノやサービスを交換したり、共有することで成り立つ新しいビジネスモデルを確立しました。

また、仕事や働き方も大きく変化します。あと10～20年で、日本の労働人口の49％がAIやロボットなどで代行可能になるといわれています。皆さんが、社会の中心となって働くころには、今の仕事の半分はなくなっているということです。

このように重さのない経済、今の半

分の仕事がなくなる時代を迎え、自分は何を目指し、どう勉強すればいいのかを考える必要があるのです。

人類・地球の問題を解決するために学び、働く

大事なことは、まず「今はフランス革命に匹敵する革命期にある」ということを自覚することです。

人は、革命期にいても、気が付かないものです。あらためてこのことを認識して、AIやロボットに勝つにはどうしたらよいのか、人間はどのような仕事をすればよいのかを考えながら勉強してほしい。一番重要なことは、人とディベートをして、どのような形で結論を出すのか、自分の頭で考え、理論を組み立てることができるようになることです。

また、成熟した社会での幸福についても考えてください。これまでは、経済が成長すれば、幸福度や快適さも上がると考えられてきました。経済の成長を測る物差しに国内総生産（GDP）があります。しかし、GDPだけで人々の幸福度は測れなくなってきました。

自分の事だけでなく、人類・地球の問題を解決できる人間になれるよう学び、働いてくれることを皆さんに期待しています。

Q 社会が大きく変わる中で、どのような人間像が求められるのでしょうか。

A さまざまな分野に通じるオールマイティ型、特定の分野に強い特化型、どちらも必要です。自分の得意な方向に進むべきです。

Q AIが進化すると人間は何をすればよいのですか。

A 単純労働はやがてAIに取って代わられるでしょう。しかし、人を愛したり思いやったりする感性はAIにはありません。そうした人間的な資質を活かして、人間はもっとクリエイティブな仕事をするようになると思います。

Q 今は革命期にあるというお話ですが、そんな時に私たちはどのような勉強をすればよいのか教えてください。

A 先生の話をそのまま鵜呑みにするのではなく、自分なりの考えを持つことが大切です。先生とも議論ができるような自立した人間になることです。

Q 日本は世界の中でどのような役割を果たせばよいのでしょうか。

A 人口や資源エネルギーの分野で、日本は世界の課題を先取りしています。先進的に苦労をして、それを克服すれば世界のモデルになれます。日本にとってピンチはチャンスなのです。

グループ・ディスカッション

第2部のグループ・ディスカッションでは、生徒・教員・保護者の各グループに分かれ、講師による問題提起とともに、参加者が抱えている課題を共有し、ディスカッションを通じて解決への道筋を見いだしました。

参加講師

（50音順・役職は開催当時）

■生徒グループ

小野寺 優（ニフコ 顧問）
佐久間 万夫（Eパートナー 取締役社長）
島田 俊夫（CAC Holdings 取締役会長）
高橋 秀行（ステート・ストリート信託銀行 取締役会長）
中島 好美（アメリカン・エキスプレス・インターナショナル, Inc. 上席副社長）
林　恭子（グロービス 執行役員）
日高 信彦（ガートナー ジャパン 取締役社長）
日比谷 武（富士ゼロックス 顧問）
廣瀬 駒雄（オーエム通商アクト 取締役社長）
森田　均（マニュライフ生命保険 代表執行役）
山内 千鶴（日本生命保険 執行役員）

■教員グループ

同前 雅弘（大和証券グループ本社 名誉顧問）
成川 哲夫（新日鉄興和不動産 取締役相談役）
森　　健（ローランド・ベルガー エグゼクティブ アドバイザー）

■保護者グループ

髙坂 節三（日本漢字能力検定協会 代表理事 会長）
四方 ゆかり（グラクソ・スミスクライン 取締役）